

『中空土偶』 国宝指定10周年記念事業

講演会

# 岡本太郎が つか 掴んだ太陽

## 縄文の美の発見

「芸術は爆発だ！」のフレーズで有名な岡本太郎。縄文土器に芸術性を見出した岡本太郎は、なぜ“縄文”のエネルギーに共振し、惹かれたのか。当時の世相を絡めながら、太郎を通して“縄文”の魅力を考える。

平成 **29** 年 **6** 月 **11** 日 

時間：午後1時～3時

会場：函館市縄文文化交流センター

住所：函館市臼尻町 554-1

電話：0138-25-2030

講師：**柴橋 伴夫** 氏


札幌市在住の詩人・美術評論家。

著書：『太陽を掴んだ男 岡本太郎』

 参加無料

(要事前申込 定員 50 名)

HAKODATE JOMON CULTURE CENTER  
LOVE DOGU



縄文文化交流センター宛  
FAX : 0138-25-2033

講演会への参加を希望される方は下記の連絡先へお申込みください。

お申し込み先 函館市縄文文化交流センター

電話 : 0138-25-2030 受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (火曜日~日曜日)

FAX : 0138-25-2033 FAX で申し込む方は下記の表に記入し、そのまま送信してください。

e-mail : jomon-center@hjcc.jp

参加者氏名	連絡先	年齢

この申込用紙に記入いただいた事項は、参加者の取りまとめ、連絡などに使用するもので、それ以外の目的には使用しません。

講師プロフィール

岡本太郎が掴んだ太陽  
縄文の美の発見

柴橋 伴夫 氏 (しばはし ともお)



1947年岩内生まれ。札幌市在住。詩人・美術評論家。

北海道美術ペンクラブ同人、荒井記念美術館理事、北海道立文学館評議員。美術批評誌「美術ペン」編集人、文化塾サッポロ・アートラボ代表。[北の聲アート賞]選考委員・事務局長。主たる著作として美術論集『ピエールの沈黙』(白馬書房) / 美術論集『風の彫刻』 評伝『風の王-砂澤ビッキの世界』評伝『青のフーガ 難波田龍起』美術論集『北のコンチェルトI・II』(以上 響文社) / 旅行記『イタリア、プロヴァンスへの旅』(北海道出版企画センター) / 評伝『聖なるルネサンス 安田侃』評伝『夢みる少年 イサム・ノグチ』(以上 共同文化社) / 評伝『太陽を掴んだ男 岡本太郎』(未知谷) / 『生の岸辺 伊福部昭の風景』(藤田印刷エクスレットブックス) など多数。

函館市縄文文化交流センター

■開館時間 午前9時から午後5時

(11月から3月は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜が祝日の場合翌日)

毎月最終金曜日、年末年始

■入館料 一般300円 学生150円

未就学児、函館市内の小中学生は無料

■所在地 函館市白尻町551-1

電話 0138-25-2030

FAX 0138-25-2033

eメール jomon-center@hjcc.jp



▲MAP